

# AMAKURU Rwanda

#1



-Ukwazi Kwa Gatanu-

青年海外協力隊 2017 年度 4 次隊

ルワンダ派遣 (2018/3~)

コミュニティ開発 (水の防衛隊)

野田 恵莉



Mwie! (こんにちは!) 2018 年 3 月末より東アフリカの赤道直下に位置するルワンダ共和国に派遣されている野田恵莉(のだえり)です。今月より、ルワンダの今と協力隊活動をお伝えします。

----- はじめましてのアフリカ、ルワンダ。 -----

千の丘の国といわれるルワンダは、見渡す限り緑の小高い丘が連なり、のどかな景色が目に映ります。私の任地、東部県ンゴマ郡ムラマセクターは、丘と丘の間に水田が広がり、バナナ (igitoki (緑色) /Umuneke (黄色)) が有名な地域です。また、年 2 回ずつ雨季と乾季があり、年中日本の 5 月や 6 月のような気候が続く、とても過ごしやすい国です。



ルワンダといえば、映画「ホテル・ルワンダ」を耳にしたことがある方が多いのではないのでしょうか。ツチ族主導のルワンダ愛国戦線とフツ族の間で内戦が勃発し、1994 年にはルワンダ大虐殺が起きました。現在では、ツチ族とフツ族の民族を分けることなく、みな同じルワンダ人として平和に暮らしています。毎年 4 月 7 日~13 日はジェノサイド追悼週間として学校や職場はほとんどが

お休みとなります。ルワンダ人は、教会や式典へ出かけたり、自宅で静かに過ごし、二度と悲劇をおこさないため、喪に服す期間となっています。



ルワンダに来て驚いたことは、ルワンダ人がとても親切、真面目で、外から来た人を温かく迎え入れる文化があること。ホームステイ先のお父さんは、「たとえ 100 人家に押し掛けてきたとしても、家に迎え入れるよ」としていました。

----- ルワンダ概要 ----- (参考：外務省 HP)

○面積：2.63 km<sup>2</sup> (≒日本の四国)

○人口：1,210 万人 (2014 年 世銀)

○首都：キガリ

○言語：キニアルワンダ語、英語、フランス語

○宗教：キリスト教、イスラム教

○経済：コーヒー、茶の栽培が盛ん。国民の 9 割が農民。現在、農業中心から知識経済型経済への移行を目指している。



----- アフリカ、ルワンダの暮らし -----

⑩：男性は、アイロンがけされたシャツと磨かれた靴、女性は Kitenge と呼ばれるアフリカンな柄の布を身にまといまいます。教会に行くときは、素敵なドレスとハンドバックで、とびっきりのおめかしをします。



⑪：主食の種類が多いこと！バナナ、メイズ、キャッサバ、ジャガイモ、米、サツマイモ、マカロニ…。そして、ルワンダの食卓に欠かせないものといえば、トマト。肉、野菜、何でもトマトベースで煮込みます。また、Ibisimbo（赤色の豆）が定番。毎食バリエーションに富みません。肉（牛肉が多い）にありつけるのも稀。調味料は、砂糖は一切使わず、塩や MAGIE と呼ばれる万能調味料を多用します。果物はアボカドやパイナップル、パッションフルーツなども豊富です。飲み物は、icyai（たっぷり砂糖入りのミルクティー）やファンタなどをよく飲みます。



⑫：首都キガリのホームステイでは、庭の広い、タイル床の一階建ての家に住んでいました。あまり生活感がなく、だだっ広いのが特徴です。一方、任地では窓が小さな土壁の家も多くみられます。停電は頻繁で、水道がない地域も多いです。私の家の前は街灯がなく、未舗装の真っ赤な茶色の道が続いています。



----- ホームステイと語学学校 -----

ルワンダ到着後、約1か月間は首都キガリでホームステイをしながら現地語「キニアルワンダ語」を学びました。現地語の複雑さに苦戦しています。



----- さいごに -----

4月末に語学学校を無事卒業し、これから任地で、水の防衛隊として主に水・衛生分野を中心に活動が始まります。今後も、人生はじめてのアフリカ、はじめてのルワンダで見たこと感じたことをお伝えしていきます！